

石巻専修大学特集

「石巻専修大学」ホームページ <http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

2018年4月
創立30年を
迎えます



自然豊かな―勉学・課外活動に励む

石巻専修大学の学生は、自然豊かな広大なキャンパスで勉学に課外活動に励んでいる。石巻専修大学特集では、本学の特色ある授業、活躍するサークル、就職状況や学生の就活体験、地域に根ざして奮闘する卒業生を紹介するほか、座談会で石巻と石巻専修大学の魅力を学生、教員に語ってもらった。

専大で学ぶ菊池さんら3人

「知識を深めたい」

国内留学

石巻専修大学 経営学部生が特別聴講生として専修大学経営学部で学ぶ国内留学。1期生の3年次生3人は、4月から生田キャンパスで学生生活を送っている。2年次に李東勲ゼミでマーケティングを学んだ菊池雄太さん(岩手県協和学院水沢第一高)は広

石巻専修大学 告知テーマの石巻徹ゼミ。経営学部生が特別聴講生として専修大学経営学部で学ぶ国内留学。1期生の3年次生3人は、4月から生田キャンパスで学生生活を送っている。2年次に李東勲ゼミでマーケティングを学んだ菊池雄太さん(岩手県協和学院水沢第一高)は広

告知テーマの石巻徹ゼミ。経営学部生が特別聴講生として専修大学経営学部で学ぶ国内留学。1期生の3年次生3人は、4月から生田キャンパスで学生生活を送っている。2年次に李東勲ゼミでマーケティングを学んだ菊池雄太さん(岩手県協和学院水沢第一高)は広

● 特色ある授業 ●

ゼミで活動する菊池さん(右前)と石巻教授(右から2人目) 専大生田キャンパス



いしのまき学

全1年次生対象の教養教育科目

地元知り魅力探究

今年度から理工学部、経営学部、人間学部のすべての1年次生を対象に教養教育科目「いしのまき学」が始まった。大学が立地する石巻市を理解するための授業で、地元の人と交流を深めたり地域の課題に目を向けるきっかけにしようとする。週1回前期15回の開

今年度から理工学部、経営学部、人間学部のすべての1年次生を対象に教養教育科目「いしのまき学」が始まった。大学が立地する石巻市を理解するための授業で、地元の人と交流を深めたり地域の課題に目を向けるきっかけにしようとする。週1回前期15回の開

今年度から理工学部、経営学部、人間学部のすべての1年次生を対象に教養教育科目「いしのまき学」が始まった。大学が立地する石巻市を理解するための授業で、地元の人と交流を深めたり地域の課題に目を向けるきっかけにしようとする。週1回前期15回の開

全員野球 花開く 市民の励まし支えに

硬式野球部



全日本でも力を発揮した松澤投手

たチームは、主将の小野侑宏二塁手(経営4・宮城聖和学園高)、赤間知文外野手(経営4・岩手県盛岡大附高)ら4年次生が中心になって課題克服に取り組んだ。先輩の姿を見て昔野一樹投手(経営2・宮城聖和学園高)ら後輩が育ち、春季リーグ戦では「全員がしっかり準備した結果、活躍する選手が日替わりで出た」と酒井健志監督

たチームは、主将の小野侑宏二塁手(経営4・宮城聖和学園高)、赤間知文外野手(経営4・岩手県盛岡大附高)ら4年次生が中心になって課題克服に取り組んだ。先輩の姿を見て昔野一樹投手(経営2・宮城聖和学園高)ら後輩が育ち、春季リーグ戦では「全員がしっかり準備した結果、活躍する選手が日替わりで出た」と酒井健志監督

たチームは、主将の小野侑宏二塁手(経営4・宮城聖和学園高)、赤間知文外野手(経営4・岩手県盛岡大附高)ら4年次生が中心になって課題克服に取り組んだ。先輩の姿を見て昔野一樹投手(経営2・宮城聖和学園高)ら後輩が育ち、春季リーグ戦では「全員がしっかり準備した結果、活躍する選手が日替わりで出た」と酒井健志監督



チームをけん引した小野主将=6月5日、全日本大学野球選手権1回戦で、東京ドーム

が話す。モットーに掲げる「全員野球」が見事花開いた。ルーキー松澤寛人投手(人間1・新潟県糸魚川高)が4勝を挙げ、優勝に貢献するなど新人も活躍した。

が話す。モットーに掲げる「全員野球」が見事花開いた。ルーキー松澤寛人投手(人間1・新潟県糸魚川高)が4勝を挙げ、優勝に貢献するなど新人も活躍した。

が話す。モットーに掲げる「全員野球」が見事花開いた。ルーキー松澤寛人投手(人間1・新潟県糸魚川高)が4勝を挙げ、優勝に貢献するなど新人も活躍した。

2017年度学生数

◆ 学部 ◆

学部	学科	人数
理工	食環境生物科	73(18)
	機械工	250(61)
	情報電子工	100(0)
	生物生産工	95(5)
	小計	2(0)
	小計	520(84)
経営	経営	439(49)
人間	人間文化	90(34)
	人間教育	133(51)
	小計	223(85)
合計		1,182(218)

◆ 大学院 ◆

研究科	専攻	人数
理工学	物質工学	1(0)
	修士課程	
	機械システム工	1(0)
	生命科学	3(1)
	博士後期課程	
	物質機能工学	0(0)
経営学	生命環境科学	0(0)
	小計	5(1)
	修士課程	
	経営学	6(2)
	博士後期課程	
	経営学	2(1)
合計	小計	8(3)
	合計	13(4)

※5月1日現在(カッコ内は女子内数)

地域と支え合い 共に未来へ

感謝と笑顔



石巻信用金庫

就職決定率95.9%

17年3月卒業生 6年連続アップ

就職活動に備えて、石巻専修大学では、きめ細かな指導を行っている。年60回以上の進路支援プログラムに加え、経験豊富なスタッフが一対一にじっくりと向き合い、夢や目標の実現を後押しする。2017年3月卒業生の進路状況、本学のサポート態勢、活動中の4年次生や地元・石巻で活躍する卒業生の声を紹介する。

17年3月卒業生の就職減)だった。地域別就職先では、北関東学部は教育・公務が30%、学部の特色が表れた。

希望者に対する就職決定率は95・9%(前年度比2割増)となり、6年連続で上昇した。

学部別では、初めて卒業生を送り出した人間学部が100%を達成。本学初の小学校教員も誕生し、学生たちの4年間の奮闘が結実した。

理工学部は97・9%(同4割増)、経営学部は92・3%(同1・5割増)と、学部別で見ると、地元の志望の高さが分かる。

主な就職支援行事

1・2年次	◇進路ガイダンス ◇石巻地域企業インターンシップ(夏期休暇中) ※2017年度入学学生から「キャリア設計」など正課授業を導入
4月	◇進路ガイダンス 「履歴書作成講座」 「筆記試験講座」 「業界・職種研究講座」ほか
9月	◇インターンシップ(夏期休暇中) ◇後期ガイダンス 「自己分析講座」 「面接講座」 「先輩たちの就職活動体験談」ほか
2月	◇就職直前セミナー ◇就職活動総合セミナー
3月	◇キャリアガイダンス(本学主催合同企業説明会)
8月	◇夏・就活応援セミナー ※随時、「学内企業説明会・選考会」を実施

充実の就活支援

本学では進路支援室が中心となって、多彩な就職支援プログラム、各種資格取得講座などを実施し、学生のキャリア意識の向上やスキル習得をサポートしている。

要、時間無制限で個別相談に対応している。16年度の相談件数は延べ9296件。進路決定者に行ったアンケートでは、満足度が91・8%(満足73・6%、ほぼ満足18・2%)と高い。

教材の一つとして『E-Testing II』を用意。インターネット上で本試験に近い内容の模擬試験を受験できる。自宅などの学外で効率良く筆記試験対策が行える。在学生は登録料3500円(通常は6100円)で、19年3月末まで利用できる。

※各行事の情報はホームページおよび、進路支援室公式Twitter、Facebookで。60人が参加できる。

資格取得対策講座

本学では資格取得に向けた九つの対策講座を開講している。他にも正課授業で取得できる資格、学内で受験できる検定試験などがあり、学生のチャレンジを支援している(別表参照)。

- ◇日商簿記検定受験対策講座(3級)
- ◇FP(ファイナンシャル・プランナー)受験対策講座(3級)
- ◇リテールマーケティング(販売士)検定対策講座(2級)
- ◇eco検定(環境社会検定試験)講座
- ◇マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS2013)試験講座
- ◇ITパスポート対策講座/基本情報技術者対策講座
- ◇3次元CAD利用技術者試験対策講座(2級)
- ◇公務員試験受験対策講座【スタートコース・教養速習コース】

- ◇TOEIC(R)-IP/日本漢字能力検定試験(2級)
- ◇実用フランス語技能検定試験(1~4級)
- ◇実用数学技能検定試験(1~3級)
- ◇経営学検定(マネジメント検定)試験
- ◇秘書技能検定試験(1~3級)
- ◇MOS2013(Word, Excel, PowerPoint)試験
- ◇eco検定

- ◇教育職員免許状取得【教職課程】
- ◇食品衛生管理者等任用資格
- ◇二級自動車整備士※
- ◇フードスペシャリスト※
- ◇甲種危険物取扱者※
- ◇保育士
- ◇学芸員
- ◇社会教育主事※
- ◇社会福祉主事※
- ◇社会調査士【資格認定】
- ◇認定心理士
- ◇認定心理士(心理調査)予定

※は受験資格、◎は任用資格(職務に任用・任命後、有効となる資格)。取得可能な資格は学科により異なります

活躍するOB 石巻唯一の糰店六代目 佐藤光弘さん

「石巻の復興を後押ししたい」
1909(明治42)年創業から100年以上、宮城県産の米で伝統の技と製法を守り続けてきた「華糰(はなごうじ)」石巻市唯一の糰製造・販売の島津麵店(石巻市旭町)。六代目の佐藤光弘さん。佐藤さんの母方の実家

にある島津麵店は、震災の津波により被災。店かなくなり、佐藤さんは、2011年の東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた店の復旧に尽力。天然醸造甘糰飲料と製法を守り続けてきた「華糰(はなごうじ)」石巻市唯一の糰製造・販売の島津麵店(石巻市旭町)。六代目の佐藤光弘さん。佐藤さんの母方の実家

に、島津麵店オリジナルの菌は残っていた。復興の補助金を得て店を立ち上げ、佐藤さんは、2011年の東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた店の復旧に尽力。天然醸造甘糰飲料と製法を守り続けてきた「華糰(はなごうじ)」石巻市唯一の糰製造・販売の島津麵店(石巻市旭町)。六代目の佐藤光弘さん。佐藤さんの母方の実家

復興へ「華糰」編み出す

地元の食文化を次世代に

失った。先代は再開を断念しながら米を手でもみ、麴シキ一等米の米と水だけで造られ自然の甘さが持つ。震災から半年後、福島県郡山市で自動ドアの会社勤めしていた佐藤さんは、父光弘さん(66)とい。震災を経て地元根を張る気持ちで湧いた。類が豊富だ。

決意を固めた。「100年以上続いた大切な食文化を次世代に」佐藤さんは夢を膨らませる。

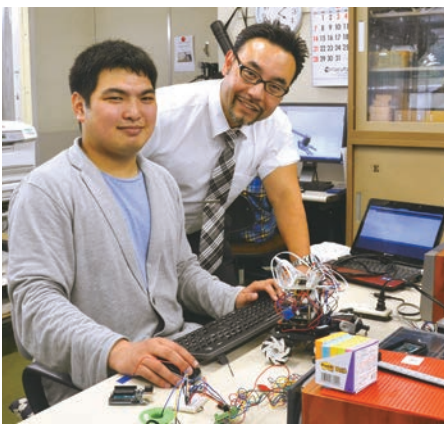


佐藤光弘さん(左)と父光弘さん。光弘さんが手にしているのが華糰。島津麵店で

進路支援室でスタッフからアドバイスを受ける佐藤さん(右)



実験室でロボットを製作する阿部さん(左)。右は指導の水野純教授



理工学部機械工学科 阿部航平さん(岩手県宮古高)

4年次生就活奮闘中

ロボットの開発

子どもの頃から夢見てきたのは、友達みたいなロボットを作ること。独学で身につけたプログラミングと大学で学んだものづくりの技術で、人の役に立ち、人を笑顔にするロボットを世に送り出したいと考えました。

「自分の引き出しを増やそう」という先生の言葉が心に残り、ロボット研究会、オープンキャンパスを運営する学生スタッフ、アルバイト、インターンシップと積極的に加わってきました。

先入観を持たず、何でも吸収するつもりで行動することを後輩の皆さんに勧めたいです。

人間学部人間文化学科 佐藤ひかるさん(宮城県石巻好文館高)

苦手意識を克服

就職活動総合セミナーをきっかけに、就活への意識が変わりました。他の参加者の活動を見て刺激を受け、計3回の模擬面接で面接への苦手意識を克服できたと思います。人と話すことが得意ではなかったが、むしろ強みだと考

えようになりました。エントリーシート作成も苦労しました。書き方も分からず、進路支援室へ。何をアピールするかを考え、アドバイスを受けた。自分の考えだけでなく、別の視点を入れることが大切だと思えます。

旅行業のなかでもインバウンド(訪日外国人旅行)事業に関心があり、日本のことを知って、もう一歩進みたい。

